

新任職員の声 ～着任1年を振り返って



社会福祉法人びわこ学園
医療福祉センター草津
病棟
看護師 ○山 ○

私がびわこ学園に入職し感じたことは、びわこ学園は利用者さんにとって健康状態を維持するための場であると同時に、個人個人の発達レベルにあった能力の維持、向上をはかるための場でもあるという事です。利用者さんは、生理的機能の発達が未熟であるということから体調を崩しやすく、状態が悪化することがあります。また、利用者さんは自身の言葉で思いを表現することが難しいため、普段の状態をよく観察し異常の早期発見に努めることが利用者さんの健康を守ることに繋がるということ学びました。入職した当時は、うまく利用者さんとコミュニケーションをとることが出来ずに悩んだこともありましたが、オリエンテーションなどを通し利用者さん一人一人についてよく知り、徐々に利用者さんと関係性を築けるようになってきたと感じています。

私が利用者さんと関わるうえで大切にしていることは、利用者さんの訴えかけていることによく耳を傾けることです。利用者さんは自分の思いを伝えることが難しくても、バイタルに変化があるなど、様々な方法で私たちに自身の思いを伝えて下さっています。オムツ交換など、毎日行っていることでも「業務」として捉えるのではなく、利用者さんとの大事な関わりであり、訴えに耳を傾けることが信頼関係を築いていくことにつながると考えます。自身の意思表示をされる利用者さんも居られるので、ケアを行う際は利用者さんに声をかけることや、利用者さんがケアを拒否されたら無理に続けるのではなく、時間を少し置いてみるなど利用者さんの意思を尊重したケアを行っていくことが重要だと感じました。また利用者さんが寝たきりの状態であっても、「できること」に目を向け、力を発揮できるような関わりを行っていくことが重要だと感じました。利用者さんの中には、目が見え

令和4年度4月着任の医師1名、薬剤師1名、作業療法士2名、事務1名、生活支援員6名、看護師13名の方々が振り返りを書いています。皆さん、成長されている姿から充実した生活を感じます。その中から、○山看護師の振り返りを紹介します。丁寧に利用者さんに関わる中から自分自身と向き合い成長を続けている姿は微笑ましい限りです。

えない方や耳が聴こえない方も居られます。利用者さんと関わる際は、利用者さんが場の変化に対して何を支えているのかを本人の表情や職員の言葉がけなどから明らかにし、より分かりやすい提示を行っていく事が重要だと学びました。

びわこ学園は長期入所されている方が多く、医療だけでなく利用者さんの生活の部分にもじっくりと向き合うことが出来るのが大きな魅力だと考えます。また、びわこ学園では医師や看護師だけでなく、支援員やOT、PTなど多くの職種が連携しながら利用者さんの生活を支えています。看護師は、医療の面から利用者さんに関わることが多いですが、それぞれの職種の観点から利用者さんを捉え、どのような支援を行っていくべきかを多職種で話し合っています。多職種の中の看護師の役割として、利用者さんの今までの生活を大切にし、その人らしく生きていけるような看護を行っていくことが重要だと感じています。この1年の学びを活かし、先輩方からたくさんのお話を吸収しながら、より広い視点を持って看護を実践していく事が今後の課題です。



令和4年度新任看護師たち